

各 位

2026年4月15日

会 社 名 株式会社メガチップス
代 表 者 名 代表取締役社長 肥川 哲士
(コード番号 6875 東証プライム)
問い合わせ先 経営企画室 三宅 正久
(TEL 06-6399-2884)

米CargoSense社への出資を通じた戦略的提携の合意

～AIインフラ需要の拡大に伴うデータセンター・サプライチェーン分野へ進出～

株式会社メガチップス（本社：大阪市淀川区、以下「メガチップス」という）は、世界初の「エージェントック（自律型）サプライチェーン実行プラットフォーム」を提供するCargoSense, Inc.（本社：米国バージニア州、CEO：Richard Kilmer、以下「CargoSense社」という）への出資、及び次世代サプライチェーンの実行と自動化に向けた戦略的提携に合意したことをお知らせいたします。

今回の提携により、メガチップスはCargoSense社の先進的なプラットフォームを活用し、急成長するデータセンター建設や製薬セクターなど、精密なリアルタイム管理が求められる新たな市場への進出を加速させます。両社は、複雑なグローバル・サプライチェーンにおける運用精度の向上と自動化、および意思決定の最適化を推進し、遅延の削減と信頼性の高いサプライチェーン構築を支援してまいります。

□ 提携の背景と目的

AIインフラ需要の急増に伴い、データセンター建設をはじめとするサプライチェーンは、よりデータ集約的かつ厳格な時間管理が求められています。CargoSense社のプラットフォームは、断片化されたデータをリアルタイムで統合し、問題が発生する前に「実用的なインテリジェンス」として提供することで、混乱の未然防止を可能にします。

メガチップスは、これまで培ってきた半導体ソリューションの知見と、CargoSense社の自律型例外管理・自動化技術を組み合わせることで、事後対応型から「プロアクティブ（先回り型）」な運用へのシフトを実現し、お客様のビジネスに測定可能なパフォーマンス向上をもたらします。

□ 両社代表によるコメント

株式会社メガチップス 代表取締役社長 肥川哲士：「サプライチェーンはますますデータ集約的になり、時間の制約も厳しくなっているため、新たなレベルのインテリジェンスとコーディネート（調整能力）が求められています。CargoSense 社のリアルタイム実行へのアプローチは、次世代システムの実現に注力する当社の方向性と密接に一致しています。この提携を通じて、イノベーションを加速させ、よりインテリジェントで自動化されたサプライチェーン運用を大規模に提供できる明確な機会があると確信しています」

CargoSense CEO リチャード・キルマー（Richard Kilmer）氏：「今回の投資は、よりプロアクティブで成果重視のサプライチェーン管理アプローチに対する需要が高まっていることを裏付けるものです。当社は、単なる『可視化』の段階を超え、最も重要な場面でリアルタイムの行動を起こし、パフォーマンスを向上させるための支援を顧客に提供しています」

□ CargoSense, Inc.について

CargoSense は、サプライチェーン運用を自動化するための「可視化 OS (Visibility OS)」を提供しています。顧客が可視化データを最大限に活用して基幹システムを動かし、サプライチェーン・チームの負荷を軽減できるよう支援します。2012年に設立されたCargoSenseは、測定、自動化、コラボレーションを通じてサプライチェーン運用を簡素化することを使命としています。

ウェブサイト：www.cargosense.com

□ 株式会社メガチップスについて

株式会社メガチップスは、1990年に日本初のファブレス LSI メーカーとして設立されました。アナログとデジタルの技術を駆使し、革新的な半導体ソリューションの研究・開発・生産に注力しています。設計から製造までエンドツーエンドのソリューションを提供し、グローバル市場における幅広い用途をサポートしています。

ウェブサイト：www.megachips.co.jp

以 上